

おおたわら 社協だより

2017
12月号

発行所 大田原市浅香3-3578-17
大田原市福祉センター内
社会福祉法人
大田原市社会福祉協議会
発行人 会長 津久井 富雄
発行日 平成29年12月1日
印刷所 (有)アート美術印刷

Ohtawara Shakyo Dayori

(第207号)

赤い羽根共同募金 街頭募金

中学生・福祉大生・地域のボランティアさん
200名の声広がる!



湯津上中学校生徒さんの協力



ボランティアのみなさんの協力



黒羽中学校生徒さんの協力



国際医療福祉大学生徒の協力

目次

P1 赤い羽根共同募金
P2 協議体について・地域座談会
P3 寄付報告 他

P4~P5 各地区の活動紹介
P6 私の特技・あすてらす・市社協行事予定
裏面から P1~P2 ボランティア情報紙「だいすき」

協議体は、
地区毎に設置された、
誰もが住み良い地域づ
くりを実現するための
話し合いの場です。

我が国は、少子化による人口の減少と急速な高齢化による少子高齢化がますます進んでいます。

平成12年から、介護が必要になった時に、介護サービスを受け、暮らしを維持できるように全国一斉に介護保険がスタートしました。その後、更に医療・介護・予防・福祉・福祉・生活支援・住まい・福祉サービスなどが包括的に確保できるような体制づくりをめざしてきました。

平成27年(2015年)からは、介護予防・日常生活支援総合事業において、団塊の世代が75歳以上になる平成37年(2025年)に向け、これまでの取り組みをより一層連携させ、特に『地域づくり』に重点を置き進められています。

協議体は、公的なサービスを活用するだけでなく、また、介護の問題を要支援者だけの問題として狭く、あるいは、お世話する側、される側という一方的な捉え方ではなく、高齢の方をはじめ、

より多くの住民が予防を含め、社会参加・社会活動をすることで、社会とのつながりをもちながら、『誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができるような仕組み』をつくり出します。その中で、これからの地域づくりを話し合う場として『協議体』が全地区に設置されています。メンバーは、各地区社協、見守り隊、民生委員、福祉委員等の中から選出し、様々な人に加え、住民主体の地域福祉を推進し、誰もが住み良い地域づくりを実現するために市と協働して、進めてまいります。

「介護予防」

“これまで”の介護予防の考え方

介護が必要な状態にならないようにするため

要介護予備群
介護が必要になりそうな人

身体機能の向上

介護予防サービス
1次予防 2次予防

対象

目標

内容

「福祉の地域づくり」

“これから”の取り組み

暮らし続けるために
必要な生活支援

すべての高齢者

社会参加

居場所・支え合い
住民をはじめ、多様な主体に寄る支援

もっと地域を元気にしよう！ -地域座談会-



座談会の様子 活発な意見がでました。



7月から9月にかけて、市内12地区で地域座談会を開催し、235名の地域の皆様にご参加いただきました。地域により課題や問題は様々でしたが、参加した皆様から出された**地域の声**は第三次地域福祉計画・地域福祉活動計画へ反映させていただきます。

みんなで支えています。 「おおたわらを良くするしくみ」 赤い羽根共同募金

那須特別支援学校の生徒のみなさんが、職場体験として、赤い羽根共同募金のチラシの三つ折やティッシュに赤い羽根を入れる作業を丁寧に進めてくれました。

この資材は、街頭募金などで募金をしてくださった方にボランティアさんの手で届けられています。



共同募金の資料作り

民生委員活動って大切なのね♡

民生委員児童委員は、地域住民の身近な相談役であり、見守りをはじめとする地域福祉活動に、欠かせない存在となっています。今年(2020年)は民生委員制度創設100周年の年に当たります。これを機に、9月15日、民生委員活動への理解を深めることを目的とした、標記セミナーが開催され(県・県社協主催)、約150人が参加しました。



国際医療福祉大学
医療福祉・
マネジメント学科
小林雅彦学科長

国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科小林雅彦学科長による講演では、民生委員児童委員の役割や、寄り添い、一緒に考えることがとても大切だということ、民生委員の活動には、周囲の理解や協力が必要だということ等のお話がありました。

続いて、野崎地区民生委員児童委員協議会の児童健全育成事業や見守り活動などについての実践発表があり、個々の民生委員活動に加え、地域の力と力を合わせて、地域のつながりづくりに重要な役割を果たしていることが分かりました。

寄付報告

平成29年9月16日から11月15日までに、社会福祉のためにお寄せいただいた寄付の報告です。皆様の温かい善意に心より感謝申し上げます。

大田原市社会福祉協議会寄付

- ♡ 佐藤文輝与一声友会 様 30,000円
- ♡ 大田原市グラウンドゴルフ協会
金田支部・野崎支部 様 6,512円
- ♡ 大田原市ゴルフのまちづくり
実行委員会 様 54,000円
- ♡ エルム福祉会 様 60,150円

大田原市善意銀行寄付

- ♡ 湯津上地区公民館 女性セミナー 様 797円
- ♡ 湯津上地区公民館 高齢者学級 様 521円
- ♡ 栗原 敏子 様(445・446回) 60,000円

大田原市地域福祉基金寄付

- ♡ 紫塚地区社会福祉協議会 様 20,000円



大田原市ゴルフのまちづくり
実行委員会 様



エルム福祉会 様

中央共同募金会会長表彰受賞

地域の皆さまのご尽力のおかげで、共同募金会大田原市支会(大田原市社会福祉協議会)は、優れた活動団体に贈られる中央共同募金会会長表彰を受賞しました。栃木県共同募金会の推薦により、11月22日に行われた全国社会福祉大会において表彰されました。改めて、大田原の皆さまのご協力に感謝申し上げます。



聞こえない、聞こえにくいことで
困っていませんか？

聞こえと難聴の悩み 補聴器相談会

日時 12月9日(土)

会場 西地区公民館 1階 会議室
【浅香3丁目3578-747】

内容

◆午前10時～正午

相談会(受付11時まで)

◆午後 1時～3時

難聴者コミュニケーションの体験・
交流会・難聴者に役立つ機器の展示

参加費 無料

予約 不要

主催 NPO法人
栃木県中途失聴・難聴者協会

問合せ

TEL 080-8742-9811
FAX 0285-51-1326
Eメール tcnk@theia.ocn.ne.jp



教育支援資金(生活福祉資金)のご案内

所得が少ない世帯を対象に、高等学校や大学などの入学や在学中に必要な経費を貸付し、進学や将来の就職に向けて支援する制度です。

<種類・貸付限度額>

	就学支度費 【入学時】	教育支援費 【在学中】
高等学校	500,000円以内	月35,000円以内
高等専門学校		月60,000円以内
短大(専修学校 専門課程含む)		月60,000円以内
大学		月65,000円以内

《据置期間》 卒業後6月以内

《償還期間》 据置期間後20年以内

※貸付を利用する場合は、日本学生支援機構第一種奨学金など他制度の利用が優先です。

栃木県社会福祉協議会を実施主体として、市社協が相談、申請の窓口となっています。また、貸付には条件がございます。まずは、お早めに市社協までご相談ください。

【TEL.23-1130】

両郷地区
社会福祉協議会 ふれあい会食会

11/3
fri



ひとり暮らしや、高齢者世帯の高齢者を対象に、ふれあい会食会を行いました。参加者は、「オカリナの風くろばね」の奏でる曲に合わせ歌を口ずさんでいました。また給食ボランティアの地元食材を使った手作り弁当に舌つづみを打ち、とても楽しいひと時を過ごしました。

川西地区
見守り隊 福祉施設祭りに出店

10/9
mon



旧蜂巣小学校跡地でエルム福祉会20周年感謝祭が開催され、地元の団体としてPRと財源確保を目標に、見守り隊員の手作り野菜、やみぞあづまっぺ協議会の紅茶等を販売し、皆さんの協力のもと完売いたしました。

ゆづかみ
見守り隊 湯津上中生が高齢者世帯訪問

9/15
fri



湯津上中学校全生徒と見守り隊が協力し、湯津上地区の高齢者宅を訪問しました。掃除や草むしりを行い、昔の湯津上のお話を聞かせていただき、見守り活動にもつながりました。

野崎地区
見守り隊 居場所づくりお話し会

7/23
sun



野崎ニュータウン自治公民館で、慣れ親しんだ地域で安心して暮らせるための「ふれあいの居場所づくり」について話し合いをしました。

地域の皆さんの
小地域活動で

笑顔いっぱい
つながりが

活きています。

黒羽見守り
助け合い隊 買い物ツアー

11/10
fri



高齢者を対象とした買い物ツアーを実施しました。那須塩原市の大型スーパーで思い通りの買い物を楽しみ、那須の史跡「殺生石」まで足を延ばして懐かしい思い出話に花を咲かせていました。また、車窓からの紅葉を楽しみました。

西部地区社会福祉協議会
西部地区見守り隊 あったか広場

10/29
sun



西原小学校を会場に、西部地区社協の「あったか広場」を開催しました。西部地区あったか思いやりの会は活動PRのために参加しました。

須賀川地区
社会福祉協議会 ふれあい広場

9/24
sun



地区社協と生涯学習推進協議会が共催で、月1回地域の高齢者・子どもたちと一緒に、地域散策・紙芝居・ゲームやお話を楽しみ、自分たちでお昼を作るなどして交流しています。他にも、季節ごとの催しがあり、楽しく活動しています。

紫塚地区
見守り隊 会食会

7/28
fri



紫塚地区の高齢者を対象に、生涯学習センターで会食会を開催しました。消費生活センターの特殊詐欺防止講座や、ビンゴゲームを楽しみ、紫塚地区社協給食部の皆さんによる手作りのおいしいお弁当をいただきました。

金田地区
社会福祉協議会 金田地区文化祭 金田丸鍋

11/11
sat



金田南地区公民館を会場に、金田地区文化祭が開催され、金田社会福祉協議会は、大鍋を使った恒例の「金田丸鍋」を、参加者にふるまいました。

ちかその
思いやり隊 親園地区文化祭

10/29
sun



親園中学校を会場に、親園地区文化祭が開催され、ちかその思いやり隊は、活動PRのためバザーを行いました。

東部地区社会福祉協議会
東部地区見守り隊 ふれあい広場

10/9
mon



大田原小学校校庭を会場に、自治会対抗玉入れや輪投げ、昔遊びのコーナーやバザー、大田原小学校児童のよさこいソーランなどの披露、また、東部地区見守り隊活動のPR活動を行いました。

佐久山地区
社会福祉協議会 食事サービス

7/31
mon



ひとり暮らし・高齢者世帯の方へ月3回、手作りお弁当を届けながら、安否確認をしています。夏休みには、佐久山中学校の生徒も一緒に訪問しています。

心配ごと相談日・市社協の主な行事予定

日	月	火	水	木	金	土
					12/1	2
					大 心配ごと 9時～正午	
3	4	5	6	7	8	9
	いきいきメイ トフォローア ップ研修 東地区公民館 13時30分～16時		湯 心配ごと 13時～16時	黒 心配ごと 9時～正午	大 心配ごと 9時～正午	
10	11	12	13	14	15	16
					大 心配ごと 9時～正午	民生委員 一日体験 13時30分～ 15時30分
17	18	19	20	21	22	23
		第3回理事会 15時30分～		黒 心配ごと 9時～正午	大 心配ごと 9時～正午 第2回評議員会 13時30分～	天皇誕生日
24	25	26	27	28	29	30
				御用納め		
31	H30.1/1	2	3	4	5	6
	元 日			御用初め 黒 心配ごと 9時～正午	大 心配ごと 9時～正午	
7	8	9	10	11	12	13
	成人の日		湯 心配ごと 13時～16時		大 心配ごと 9時～正午	
14	15	16	17	18	19	20
				黒 心配ごと 9時～正午	大 心配ごと 9時～正午	
21	22	23	24	25	26	27
					大 心配ごと 9時～正午	
28	29	30	31	2/1	2	3
				黒 心配ごと 9時～正午	大 心配ごと 9時～正午	
4	5	6	7	8	9	10
			湯 心配ごと 13時～16時		大 心配ごと 9時～正午	

★心配ごと相談

※民生委員児童委員が相談に応じます。 秘密は守られます。

地 区	会 場	電話番号
大 大田原	市福祉センター	23-1130
湯 湯津上	佐良土多目的交流センター	98-3715
黒 黒 羽	市社協黒羽支所	54-1849

★ボランティア相談

「ボランティア活動したい」「ボランティア活動して欲しい」などの相談に市社協職員が応じます。月～金曜日 午前9時～午後5時(祝祭日、年末年始除く)

場所: 市社協本所

※人権相談・行政相談については、市広報紙・市ホームページ

(<http://www.city.ohkawara.tochigi.jp/>) をご覧ください。



地域で見つけた

ほっと
スマイル

森 道子さん

「私の特技」

私は絵を描くのが大好きです。障がいを抱えています、アイドルや芸人さんなどたくさん描いてきました。

今回、大田原市の「与一くんと今人気のサンシャイン池崎」を描いてみました。私の描き方は、写真を見てレイアウトをイメージし、手描きで紙に描き、それをスキャンし、パソコンで色付けをして、完成させます。

与一くんとサンシャイン池崎さんが私の絵の中で初めて出会った瞬間です。どんな会話をしたのか想像してみてください。



あすてらす

(日常生活自立支援事業)とは…

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者に対し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などの援助を行うことにより、在宅で自立した生活を送ることを支援しようとするものです。

市町社協(基幹的社協)に配置された専門員が利用者の各種相談に応じるとともに、利用者ごとに適切な援助内容を定め、生活支援員が利用者ごとに直接支援を行います。

支援サービスの内容

- ・福祉サービスの利用援助
- ・日常的な金銭管理サービス
- ・書類等預かりサービス

《 保管できる書類等 》

年金証書 貯金通帳 権利証
契約書類 保険証 実印・銀行印

※預かることができないのもの

宝石、書画、骨董品、貴重品、小切手など

あすてらす おおたわら ☎ 0287-23-7375

ぼくらのまちのウォークラリー inくろばね “ともに生きる”ってなんだろう？

10月14日(土)

黒羽中学校体育館にて



実行委員長
真尾 祐太さん

参加者一人ひとりがそれぞれの立場から、地域の一員である意識をもって、みんなで協力したウォークラリーであったと思います。

ともに生きるまちづくりについて考えるきっかけにいただき、同じ地域に住む仲間として、お互いに助け合えたら、とても嬉しく思います。



箱の中身は…この感触はなに!?

参加者の感想より

- 今日は思い出にのこる日でした。またやりたいです。(12歳)
- 様々な年代の方が協力しながらイキキと活動していて嬉しくなりました。(66歳)
- 子ども大人も色々な人がいて、お互いにかかわりながら、それぞれの個性を知ることが、ともに生きる第1歩だと感じました。(20歳)



高得点目指して、えいやっ!

市民による実行委員29名が、アイデアを出し合い、力を合わせながら、半年間にわたって準備を進めてきました。子どもも高齢者も、ハンディのある人もない人も、協力して課題をクリアしながらコースを歩くことで、地域で「ともに生きる」ことについて考えました。



みんな仲良くなれたね!

災害が起きたとき、自分たちでできること

9月24日(日)に、平成29年度栃木県・県北地区災害ボランティア対応力向上訓練が矢板東高校のグラウンドで開催され、大田原女子高校と黒羽高校の生徒が参加しました。

もし自分たちが住んでいる地域で災害が起こった時に、自分たちにもできることとして、水害の際に水や土砂の侵入を防ぐための土のう袋作りや積み上げ、トラックから避難所に送る応急物資の積み下ろし、また、段ボールを使った避難所の簡易仕切りづくりなどを体験しました。



土のう袋作り



みんなで協力 物資のリレー



大田原市ボランティア連絡協議会 大田原支部

昭和62年設立 会員362名

ボランティア
紹介コーナー

大田原市のボランティア活動の中心となり、「所属する各団体や個人と情報交換、及び親睦を図り、ボランティア精神のもと社会貢献活動に励んでいます。」



施設利用者と一緒に
与まつりへ

♡活動について

所属団体を後援し、横のつながりを作ることでお互いに活動が活性化することを目的としています。また、地域の人にボランティアや地域福祉に興味をもってもらうために、やりがいを感じて活動できる場の提供に力を入れています。

♡メンバーの声

活動しながら多様な人たちとふれあうことが楽しみです。「活動できて良かった」の一言がとても励みになります。

♡伝えたいこと

地域課題が多様化している中、ハンディのある方もない方も、分け隔てなく交流し、活動できる場の提供に力を入れていきたいと考えています。また、子どもたちにボランティアを知ってもらう機会を設け、優しい心を育てていきたいです。



活動前にはみんなで
しっかりと話し合います。

ボランティア 募集情報

利用者さんと将棋を指してくれるボランティアさん

お昼過ぎの余暇の時間に、施設利用者と楽しく将棋をしてくれるボランティアを募集しています。ルールを知っていればどなたでも歓迎です。

場所 介護老人保健施設 椿寿荘^{ちんじゅそう} (大田原市末広1-2-5)

時間 午後2時～4時30分までの余暇時間

人数 一日につき一人

内容 ご利用者さんと将棋を指します。腕に覚えのある方もどうぞ!

申込み 担当:阿久津さん ☎0287-23-8880



ボランティア募集情報は、市社協ホームページのブログに掲載しています。

大田原市社会福祉協議会は、みんなの**ふだんのくらしのしあわせ**を応援しています!

【本 所】
浅香 3-3578-17
大田原市福祉センター内
☎ 23-1130・24-0294
FAX 23-1138

あすてらす
おおたわら
☎ 23-7375

【湯津上支所】
佐良土 853
佐良土多目的交流センター内
☎ 98-3715
FAX 98-8011



【黒羽支所】
黒羽田町 848
☎ 54-1849
FAX 54-2745

大田原市
社会福祉協議会
介護事業所

市社協ホームページ URL <http://www.ohatawara-shakyo.or.jp/>